

## 平成26年第3回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	9. 12	通告者	17番	竹谷英昭
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 所信表明から</b></p> <p>(1) 多賀城インターチェンジと観光行政について</p> <p>(2) 中央公園の整備と道の駅（物産館）関係について</p> <p>(3) 公園球場の復旧に当たって、利用者団体等の意見を聞きながら創造的復興のシンボルにすることについて</p> <p><b>2. 市長選挙後のマスコミ報道から</b></p> <p>(1) 本市ほど温かい施策をやっているところはないと話されているが、その真意は。</p>					

質問順	受付月日	9. 11	通告者	1番	柳原清
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 水道料金引き下げについて</b></p> <p>「平成26年度多賀城市水道事業会計補正予算（第2号）」関係資料によれば、今年度の多賀城市水道事業会計の純利益は2億2千187万2千円となる見込みです。これは当初予算より1億7千151万2千円の増、6月補正時より5千481万円の増加となります。また今後、多賀城市が受水している「宮城県仙南仙塩広域水道」の数千万円の受水費の引き下げも予定されており、その分黒字が増加する見込みであり、水道料金引き下げの条件は十分あります。速やかな料金引き下げを求めます。</p> <p><b>2. 岩切駅自由通路について</b></p> <p>地域住民の長年の願いである岩切駅自由通路の進捗状況、今後の見通しについて伺います。</p> <p><b>3. 地区集会所への太陽光発電及び蓄電設備の設置について</b></p> <p>岩手県葛巻町は「エネルギー自給率160パーセントの町」として有名です。同町では、災害に備え、地区集会所に太陽光発電及び蓄電設備を設置しています。本市でも地区集会所へ太陽光発電及び蓄電設備を設置してはいかがでしょうか</p>					

質問順	受付月日	9. 11	通告者	2番	戸津川 晴 美
3番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 一問一答
<p><b>1. 子ども・子育て支援新制度について</b></p> <p>(1) 本市の基準は、家庭的保育・居宅訪問型保育・小規模保育C型は、保育士資格が不要とされ、小規模保育B型は、保育士は1／2でよいとされています。無資格施設は事故率が高く、子育て支援員の研修カリキュラムも不明確ななか、この基準は、問題ではないかと考えるが、いかがですか。</p> <p>(2) 特定地域型保育事業者には、連携施設の確保が義務づけられていますが、特定教育・保育施設にその応諾義務はない。これでは、連携施設は機能しないと懸念されるが、市長の見解をうかがいます。</p> <p>(3) 子育て支援充実と待機児童の解消の取り組みは、保育所と小規模保育A型を軸に進めるべきと考えるが、いかがですか。</p> <p>(4) 保育料は、軽減措置を継続し、現行水準を維持すべきと考えるが、いかがですか。</p> <p>(5) 留守家庭児童学級の事業（放課後児童健全育成事業）は放課後子ども教室と一体化させることなく、独自事業として確保し、充実を図るべきと考えるがいかがですか。</p> <p><b>2. 学校備品について</b></p> <p>小・中学校の教職員に対し、パソコン配置の拡充が急務であると考えますが、いかがですか。</p> <p><b>3. 原発問題について</b></p> <p>原子力規制委員会が、再稼働審査のよりどころとする「規制基準」について市長の所見を伺います。</p>					

質問順	受付月日	9. 11	通告者	14番	雨森修一
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p><b>1. 地方教育行政法の改正案について</b></p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が制定された。</p> <p>地方教育行政の責任体制を明確化する狙いがあるようだが、教育に対する自治体首長の権限強化を柱とした改革案であり、政治的中立性が損なわれる恐れがあると懸念されている。制度の在り方について伺う。</p> <p><b>2. 豪雨対策について</b></p> <p>集中豪雨による大被害が全国各地で発生している。</p> <p>宮城県仙台土木事務所（調査機関）の発表によると、多賀城市内に於いて、土砂災害警戒地域の指定各所が6ヶ所、急傾斜地崩壊危険区域が2ヶ所指定されている。多賀城では9. 22、一時間119mmの豪雨に襲われ大きな被害を出した。</p> <p>減災都市多賀城、今後の警戒地域等の安全対策、取り組みについて伺います。</p>					

質問順	受付月日	9. 12	通告者	16番	昌浦泰己
5番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 学校教育について</b></p> <p>(1) 市長は所信表明で、学校教育の更なる充実を進めて参ります、と述べられました。その具体策を市長にお伺いいたします。</p> <p>(2) 現在の図書館を新図書館完成後、教育関連の施設として活用するお考えはお有りでしょうか。</p> <p>(3) JR川越駅で全盲の女子生徒が足を蹴られてけがをしました。障がいをお持ちの方への理解を深めるために、市内の小・中学校で白杖や車いすを使つてのキャップハンディ体験を実施するお考えはお有りか。</p>					

質問順	受付月日	9. 11	通告者	9番	佐藤恵子
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 子育て支援策について</p> <p>子どもの貧困率が16.3パーセントと過去最悪になり、本市においても、就学困難な世帯が増加し今後も増えていく可能性が高い。市長は所信表明で今後の市政運営の主要な柱として、生みやすく育てやすい「のびのび子育て都市」を目指すとしているが、それを実現していくために以下の施策を実行されたい。</p> <p>(1) 来年度から子ども医療費助成（通院）を小学校卒業まで拡充されたい。</p> <p>(2) 親から子への貧困連鎖を断ち、子どもの教育を保障するために市独自の奨学金制度を創設されたい。</p> <p>2. 防災対策について</p> <p>市の防災行政無線が地域によって聞こえない状態は解消されていない。これを解決するため、必要なところに個別受信機を配置してほしいという要望が出されている。緊急時に速やかに対応できるよう受信機を配置されたい。</p>					

質問順	受付月日	9. 12	通告者	11番	松村敬子
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 板倉活用について</p> <p>所信表明に「歴史的風致維持向上計画に基づき歴史的な街並みの整備を促進し、品格と魅力を兼ね備えたまちの実現に取り組む」とあるが、そのなかにある板倉の保存活用について</p> <p>(1) 計画で指定されている区域の板倉保存修復だけではなく、その他の地域の板倉も同様にされてはかがか。</p> <p>(2) あやめ園にある、市に寄贈された板倉の活用は如何に。</p> <p>(3) 寄贈を申し出ている板倉を集積し、来訪者をもてなす場所として活用されてはどうか。</p> <p>2. 空家対策について</p> <p>近年、高齢化、人口減少を背景に空家が増え続け、問題となっている。本市の空家の現状とその対策として条例制定は如何に。</p> <p>3. 長崎屋跡地活用について</p> <p>(1) 長崎屋跡地に建設予定の市営駐車場の1階を来訪者120万人（予想）をもてなす場所、また、地元小規模事業者のための店舗スペースにされてはど</p>					

うか、見解を伺う。

(2) 駐車場以外の敷地はどのような方向ですすんでいるか。

質問順	受付月日	9. 11	通告者	4番	深谷晃祐	
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1. プレーパークの設置について</b> 子どもたちの遊び場の確保をすることで、健全な育成を目指し、自己責任を前提とした公園における自由な遊び場（プレーパーク）の設置を求めますがいかがか。						
<b>2. 予想される多賀城駅周辺の混雑対応策について</b> 市立図書館の駅前移転やツタヤ書店の出店等により、周辺道路の渋滞や混雑が予想されるがその対応策を伺う。						
<b>3. 『人口減少対策本部』設置について</b> 人口減少対策は待ったなしであるという市長の思いに強く共感すると共に、早急かつ的確な対策が求められる。 現時点で、どのような対応策をお考えか伺う。						

質問順	受付月日	9. 9	通告者	15番	吉田瑞生	
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<b>1. 菊地市長が市長選挙において公約された「下馬駅前の駅前広場のリニューアルを推進」することについて</b> (1) 国道45号から下馬駅前（市道下馬駅前線）に直結し、駅前を回遊—循環—できる多賀城市道を新設することについて (2) 駐輪場に面する法面を造成して、土地の有効面積を拡張することについて (3) 多賀城駅前駐輪場を、下馬駅前に移築することについて (4) 多賀城市道下馬駅前線（幅員4.0～8.8メートル 一級市道）の下馬駅前から新折越踏切までの間の歩道と車道を拡幅整備することについて (5) 一般車やタクシーなどの「のりば」と「おりば」の場所を新たに設けることについて						

質問順	受付月日	9. 11	通告者	6番	米澤 まき子
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 未婚のひとり親家庭の寡婦（夫）控除のみなし適用について</b></p> <p>未婚のひとり親家庭は、税法上所得税の税額控除で寡婦控除が受けられません。このように、婚姻歴の有無によって保育料・公営住宅の家賃等様々な経済的負担に格差が生じています。未婚のひとり親家庭に対して国の動きを待たずに独自にみなし適用を実施している自治体があります。本市においても、保育料等のみなし適用を導入すべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p><b>2. 学童保育の実態と今後について</b></p> <p>現在、学童保育は少子化対策として成立した次世代育成支援対策推進法に基づく児童福祉法改正による子育て支援事業の一つに位置付けられました。平成27年度から実施される、子ども・子育て支援新制度では、4年生以上の児童の積極的な受け入れの配慮が求められております。拡大されたことに伴い、今後大幅な需要の増加が見込まれます。現状の課題と今後について伺います。</p> <p>(1) 教育委員会との連携は</p> <p>(2) 障害をもつ児童の受け入れは</p> <p>(3) 運営形態について</p>					

質問順	受付月日	9. 12	通告者	10番	森 長 一 郎
11番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. ノーマライゼーションの啓発について</b></p> <p>最近、盲導犬が刺される事件や白杖を持った盲学校の生徒が蹴られる、という障がい者や障がい者に関わる動物が被害にあう、という事件が相次いだ。</p> <p>ノーマライゼーションという理念が浸透して久しい。障がい者や生活弱者への接し方や対応を、今一度、教育の場で啓発されたい。</p> <p><b>2. 空き家・空き地対策について</b></p> <p>8月19日の区長会市政懇談会でも話題にもなっており、各地区でも問題意識を持っている。平成24年第3回定例会で一般質問をさせて頂いたが、2040年問題でも課題のひとつと考える。対策を講じて頂きたい。</p>					

質問順	受付月日	9. 12	通告者	12番	阿部正幸
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p><b>1. 生活保護世帯における修学旅行費について</b></p> <p>小学校や中学校で修学旅行に参加する児童・生徒は、旅行費用を事前に支払うようになっています。生活保護世帯は、修学旅行終了後に就学援助費受給申請書を提出し、後日精算となっております。生活保護世帯で修学旅行費用の捻出に苦慮している保護者に対し、事前に立て替えることがないように「前払い制度」を創設していただきたい。</p> <p><b>2. 多賀城市民音楽祭の取り組みについて</b></p> <p>多賀城市民音楽祭は、幅広い市民層の音楽活動を支援するため、ジャンルや世代を超えた市民手作りによる音楽イベントの創出を図ることを趣旨に開催されていることから、市内中学校吹奏楽部も参加出来るように日程の調整をしていただきたい。</p> <p><b>3. 被災者生活支援について</b></p> <p>本市では、県から補助率10/10による「絆再生事業」や「地域支え合い体制づくり事業」を活用して、様々な被災者支援事業を実施しておりますが、一昨年から毎年、被災者現況調査アンケートを行い、今年も10月9日までを提出期限としてアンケート調査を実施するもので、そのニーズを把握して継続的に取り組むためにも、被災者支援事業に係る長期的な財源確保を国や県に強く働きかけていただきたい。</p>					

質問順	受付月日	9. 12	通告者	8番	藤原益栄
13番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別
<p>1. 中央公園の設備について 中央公園の野球場・ソフトボール場に可搬式のフェンスを備えられたい。</p> <p>2. 新図書館について 1階のトイレなど、その後、設計変更はどうなっているか。</p> <p>3. 所信表明について</p> <p>(1) 第五次多賀城市総合計画にそった内容とならなかった理由は何か。</p> <p>(2) 陽気で「すこやか健康都市」（所信表明7ページ）の「陽気」に込めた意味を説明されたい。 同様に「最先端の行政運営」（所信表明8ページ）の「最先端」に込めた意味を説明されたい。</p> <p>(3) 「2040年消滅可能性都市問題」は取り上げ方が過大ではないか。</p>					



質問順	受付月日	9. 11	通告者	3番	江口正夫
14番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答

### 1. 小中学校のトイレの洋式化推進について

2011年頃から、文科省は学校のトイレの洋式化の改修を推奨しています。本市の小中学校の洋式化率は低く、洋式であっても旧式が多く、不便を感じている児童もいます。震災後の学校耐震化工事が完了した今こそ、学習教育環境の整備として、順次改善を図るべきと考えます

以下の3点について質問します。

- (1) 学校トイレの洋式化について、これまでどのように検討されてきたのですか。また、現状認識をどうお考えですか。
- (2) 今後の中期的な改修整備をどうお考えですか。また、整備目標を何パーセントに設定されるのですか。
- (3) 学校の大規模改修時に合わせてトイレの改修を行うとの従来の答弁ですが、少子化との関連もあり、単独改修を行うべきと考えますが、いかがですか。その際、小学校のトイレを優先すべきと考えますが、いかがですか。

### 2. 国立地震津波ミュージアムの誘致への取り組みについて

市長は西の福岡県太宰府市の九州国立博物館と並んで、東の多賀城市国立博物館（仮称）の誘致という遠大な構想の実現に、強い意欲をもって取り組んでおられます。しかし、実現に向けては、相当高いハードルと長期の時間を要すると考えられます。

以下の3点について質問します。

- (1) 市長は今任期中に誘致の道筋をつけたいと述べておられますが、具体的にはどのようにお考えですか。また、今後の活動についてお伺いします。
- (2) 誘致のための準備委員会のような組織の立ち上げは検討されているのですか。その立ち上げは、いつ頃、どのような構成を考えておられますか。
- (3) どのような博物館にすべきかは、今後、時間をかけて検討されていくものと思いますが、東日本大震災の被害と教訓、特に津波の脅威を伝承し、一人一人が減災防災について考え、楽しく学べる場になるような施設にすべきと考えますが、ご見解をお伺いします。